

第1回 阪神西部(武庫川流域圏)地域総合治水推進協議会

## 災害から命を守るために “そのとき あなたは？”

平成24年11月 6日  
尼崎市中小企業センター  
ひょうご地域防災サポート隊  
代表 伊藤道司

1

## 今日の私のお話

- 1 守れ 命を！ 地域の防災
- 2 最近の豪雨災害に学ぶ
- 3 武庫川とその流域の特徴
- 4 防災マップづくりをしよう
- 5 災害から命を守るために

2

## 1 守れ 命を！ 地域の防災

自分の命は 自分で守る  
自分の家族と 近所を守る  
自分達のまちは、自分達で守る

そのために  
まちを知り、災害を知り、人を知る

3

## 守れ 命を！ 地域の防災

場所・場所、地形や地質、川の流れ  
裏山の状況、家の構造、住まい方で  
被害のあり様は大きく違う

そのために  
まちを知り、災害を知り、人を知る  
そして対策を考える

4

## いまなぜ、地域の防災？

- i 極めて大きい自然や気象の変化  
極めて大きい地震・津波や集中豪雨  
→ 瞬時の対応が求められる
  - ii 住まいの状況が一人ひとりで異なる  
住居の場所・地形が違う・家屋の構造  
や家族構成が違う → きめ細かい誘導
  - iii 役所も被災・職員も被災する
- 「自分の命は自分で守る」自覚を持つ

5

## 知って・備えてほしい

- ・住んでいるまち・すまいを知る  
自然・歴史・地質、災害に強い弱い など
  - ・災害のメカニズムを知る  
集中豪雨、水害、土砂災害、地震 など
  - ・人を知る ・災害の対策を考える  
情報収集・伝達、防災対策、耐震化 など
- そして 備えてほしい

6

## そのとき あなたは どうします

- 正確な情報収集と伝達は？
- 自分たちのまちの危ないところは？
- 1時避難所と指定避難所の安全は？
- 避難の判断と、安全な避難経路は？
- あの、おばあさんの避難誘導は？
- 初期消火活動は誰がどうする？
- 負傷者の救助は？・水門の開閉は？

7

## にげましょう！

災害でいのちをなくさないために



24年4月17日発行 著者：河田憲昭

8

## 2 最近の豪雨災害に学ぶ

- 1) 集中豪雨のいろいろ
- 2) 昨年からの豪雨災害
- 3) 最近の特徴

16・23号台風  
円山川決壊



(豊岡市立野) 平成16年台風23号被害  
兵庫県土整備部提供

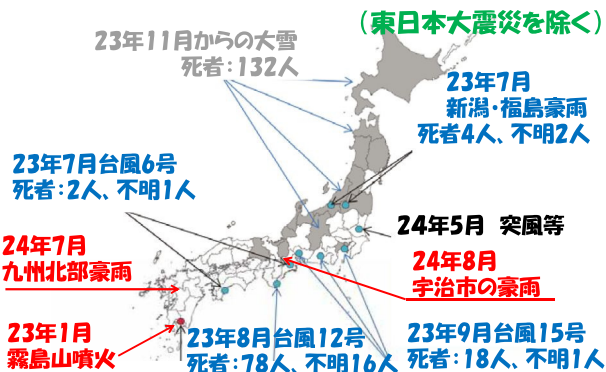
9

## 1) 集中豪雨のいろいろ

- 広域豪雨: 広域に激しく降る雨(梅雨前線・秋雨前線+台風の湿舌)長時間・広域、大河川
- 集中豪雨: 狭い地域に激しく降る雨(寒冷前線・温暖前線+低気圧)中小河川・市街地
- ゲリラ豪雨: スポッ的に降る激しい雨(暑い夏、気温急上昇、積乱雲、夕立)小河川・地下

10

## 23年度以降の主な災害

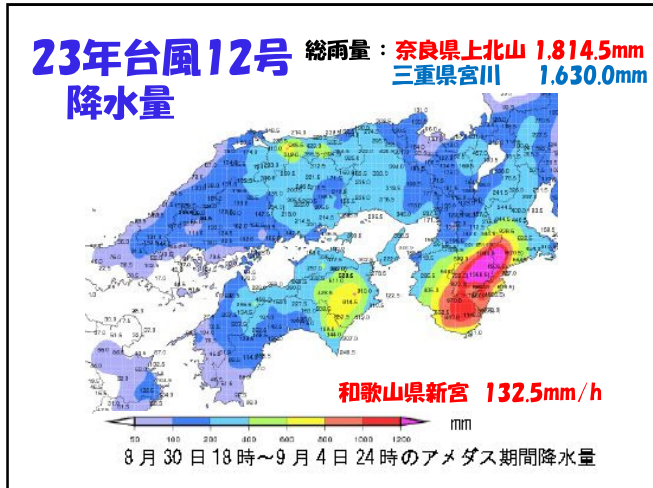


11

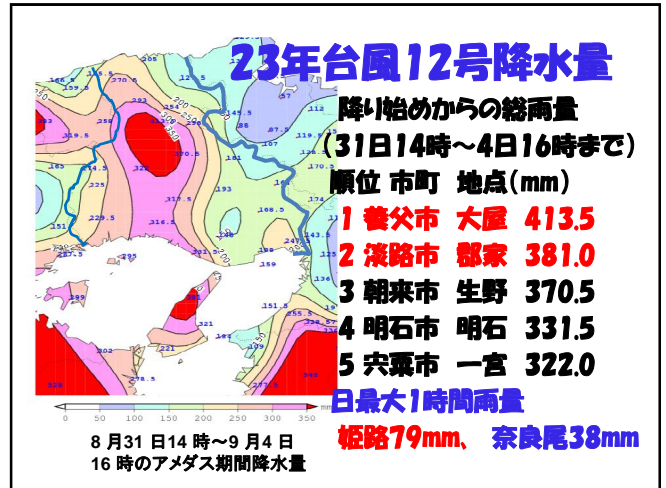
## 2) 昨年からの豪雨災害 (1) 平成23年 台風12号

- 奈良県上北山村: 72時間雨量 = 1652.5mm
- 国内記録の1322mm(宮崎県神門(みかど))を大幅に上回り、総降水量: 1814.5mmに達した。一部の地域では解析雨量で2000mmを超えるなど、記録的な大雨となった。
- 和歌山県、奈良県、三重県などで被害発生

12



13



14

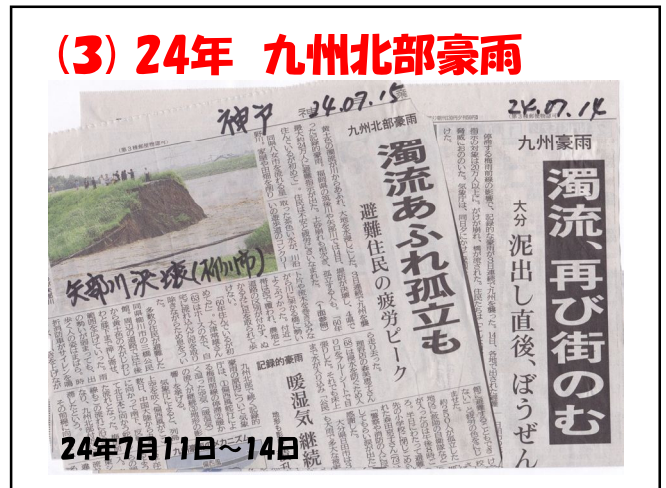
## (2) 平成23年 台風15号

(9月19日～22日)

9月21日潮岬沖を通過、同日14時頃に静岡県浜松市付近に上陸し、東海・関東・東北地方を縦断した。

西日本は、前線が停滞、南から暖かく湿った空気が入り込み、各地に大雨をもたらした。帰宅困難者発生

15



16

## 3) 最近の集中豪雨の特徴

- 1 過去を大きく上回る記録的豪雨
- 2 被害発生までの時間が短い
- 3 都市化・過疎化が被害を拡大
- 4 その場所・場所で被害は異なる
- 5 初動期の行動が生死を決める
- 6 災害時の車移動は特に危険
- 7 役所も被災、職員も被災する

17

## ハード対策の限界

- 防災施設の整備を着実に推進  
→ 想定を超える豪雨や地震や津波  
→ ハード対策だけでは限界
- 自助・共助による減災社会へ  
→ 危険情報の提供・情報収集と伝達  
→ 地域ごとのきめ細かなソフト対策  
～守れいのちを！ 地域の防災～

18

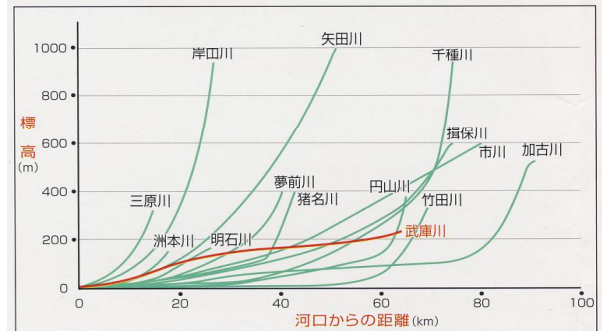
### 3 武庫川とその流域の特徴



19

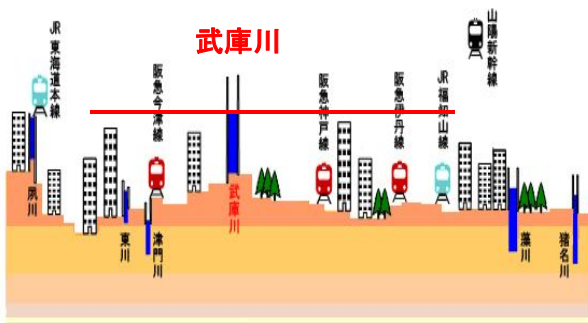
### 武庫川の河川勾配

■兵庫県の川の勾配と長さ



20

### 武庫川と市街地の断面図



阪急神戸線鉄橋の上流箇所での断面図

21

### 4 防災マップづくりをしよう

#### みんなでつくる 防災マップ

- 防災は楽しいマップづくりから～
- DIG (Disaster Imagination Game) をベースに、課題にあわせて～  
ただし
- マップづくりは 一つのツール～

22

### みんなでつくる防災マップ

- ①まち歩きでまちを再確認
- ②白図に主要施設や避難所などを記入
- ③「人の動き」や「水の流れ方」などを記入
- ④浸水予想区域や危険箇所を記入し、**メモ**
- ⑤起こりそうな災害を予想し記入し、**メモ**
- ⑥課題や対策を話し合い**メモ** ⑦発表

自分達のまち・災害のメカニズム・多くの人を知り、対策を考える 防災マップづくり

23

### 1) まち歩き

- i 歩きながら現地と地図を対比させ、地図の見方に慣れる
- ii 現地の状況などを地図上に正確に記入  
＜持参するもの＞  
マップづくりに使う地図の縮小版  
ハザードマップ(浸水予想区域図や土砂災害危険区域図など)

24



## 2) 会場での準備

1. 7~10人程度の班編成
2. 各班に準備するもの(市町が準備)
  - ・白地図、市町の防災マップおよび管内図
  - ・浸水予想図(洪水ハザードマップから)
  - ・浸水実績図(ハザードマップに記載の無い川)
  - ・土砂災害危険区域
3. 文房具(黒サインペン・カラーペンを複数組、  
・ポストイット(正方形―黄と赤)、(長方形―  
うす青)、A4版白紙)

25

## 3) 防災マップの手づくり手順

はじめに：進行役・記録者・発表者

- 1 道路、河川等の主要施設や自宅、指定避難所など**地域の現状**を地図上に記入
- 2 通学、通勤、避難経路など「**人の動き**」  
河川や谷筋の「**水や土砂の流れ方**」記入
- 3 ハザードマップから**浸水予想区域**や**土砂災害危険区域**等を記入、地域の**危険箇所**  
**要注意箇所**を地図上に記入し、その**危険な**  
**内容をポストイット(黄色)**に書き貼る

26

## 4) 災害をイメージしよう

自分達の地域に、**どんな災害が起こりそうか**予想し、その地点を地図上に記し、**予想される災害をポストイット(赤色)**に書いて、地図に貼り付けます。

- 地震・津波・河川氾濫・崖崩れなど、  
どの様な災害が起こりうるかを想定する
- 避難する場合、浸水深さ、濁流の速さ、  
水路や側溝、夜間照明等の危険性や課題

27

## 5) 話し合おう課題や対策

予想される災害に対する**地域の課題**や**防災対策**として必要なことについて、**話し合い**、一つ一つ**ポストイット(うす青色)**に記入し**地図の端部に貼る**。  
**最後に班の意見集約を図る**。

**情報収集と伝達方法・一時的な避難所**  
**お年寄りなどへの支援・声かけ方法など**

28

## どうするか、皆で話し合おう

- 通報連絡**はどうやって誰が担当？
- 地域の**危険なところ**がないか？
- 集合場所**や**避難所**は大丈夫？
- それぞれの**安全な避難経路**は？
- あのおばあさんは**誰が避難誘導**する？
- 初期消火**や**応急・救護**の担当は？
- 地域の**防災対策**について**話し合おう**

29

## 話し合おう 備えよう 行動しよう

**話し合おう**→自主防災組織の活性化  
まち・災害・人・対策を知る  
**備えよう** →家屋の耐震化、転倒防止  
防災行動計画、防災訓練  
**行動しよう**→とにかく安全な場所へ  
少しでも速く、少しでも高く

30

## 5 災害から命を守るために

### 1) 自主的な初動対応を！

風水害災害が発生しそうなとき  
地震・津波などが発生したとき



地域の皆さんが、どう助け合って  
被害を最小限に食い止めるか  
あらかじめ防災行動を決めておく

31

### 2) 自主防災行動計画づくり

- 地域の初動体制の整備・充実
- 役場・自治会・住民との情報伝達
- 被災地の救助・救援機能の充実
- 安全・迅速な人・ものの移動

→町職員と住民それぞれの

時間ごと担当ごとの防災行動

(昼間の対応・夜間の対応)

32

## いま、地域でできること

### 1) 地域全体で防災力を高める

- ①防災マップづくり ②行動計画づくり
- ③防災訓練 ④コミュニティ力を高める

### 2) 集落での発災時の初動対応

まず、速い防災情報の収集・伝達

- ①行政↔ ②各集落↔ ③各戸

主体的な早めの自主避難を！

33

## にげましょう！

- 瞬時の判断→生死を分ける
- 警報も聞き取れず→命救った掛け声
- 東北地方“津波てんでこ”の伝承  
(津波が来たら、肉親に構わず、各自  
てんでばらばらに1人で高台へ逃げろ！)
- 「1秒でも早く、1秒でも高く！」

34

## 地域のリーダーの皆さま

そのとき あなたは どうします！

そして 地域の方々はどうします？

発災時の初動対応を点検して

みんなの命はみんなで守る

みんなの故郷はみんなで守る

大変ですがよろしくお願いたします

35

## ご清聴有難うございました



皆様のご活躍をお祈りいたします。

36